



運動会が終わって

前号でいろいろ運動会について説明しましたが、実際にご覧になっていかがでしたか。

《初めて運動会を経験すること》

毎年、初めて運動会を経験する子どもたちは、総練習と運動会とで全く異なる姿を見せることが多いのですが、今年は少しの緊張で済んだように見えました。

無論、15日の総練習では、みかん組の面々は運動会当日より実に楽しそうに踊っていました。今まで経験したことのない大人数の大人に囲まれた運動会当日は、総練習の日とは違う表情でした。これは、幼稚園から見ると例年どおりの姿ですが、保護者のみなさんは、今まで見たことのない姿と感じたかもしれません。来年以降経験を重ねる度ごとに、のびのびと楽しむようになります。一年の成長を楽しみにしてください。うめ組から入園した子どもたちにとっても、同じことが言えます。

《しっかり目に焼き付けていただく》

今年は、先生たちはなるべく子どもたちと保護者の間に立たないようにしました。どの学年の先生も、子どもたちの姿を保護者の皆さんの目にしっかり焼き付けていただきたと考えての位置取りでした。行進の時などトラックの内側を歩きましたが、いかがだったでしょうか。

1年に1回きりの場面なので、ご家庭で一緒に生活していて見慣れた姿とは異なる、ハッと驚くような成長した姿をご覧になれたのではないのでしょうか。

職員も、学年が上がるにしたがって走り方が随分違うなど、子どもたちの成長を感じています。

《あそび》

幼稚園の運動会は子どもたちにとっては楽しいあそびです。その証拠に、運動会が終わっても、リレーを楽しんだり、ダンスを楽しんだりしてくれます。下の学年の子もリレーに参加したくなるようで、バトンの受け渡しではさくら組の子が優しく手伝ってくれます。運動会当日には見られない、思いやりの場面です。

《できるだけ職員の手で》

今年も保護者会の役員の方々に前日準備と当日の片付けを手伝っていただきました。

今年は、演技中の用具の運び込みやライン引きは職員が行い、保護者のみなさんにはご自分のお子さんをじっくり見て頂きたいと考え、試みました。今年のような流れなら、職員だけで対応できそうです。

連 絡

☆ クリスマス献金・おむすび献金（毎年同じ連絡です）

幼稚園では、「クリスマス」という言葉と、「思いやり・共に生きる」ということばが結びつて、子どもたちの頭の片隅に残って欲しいと願い、12月にクリスマス献金をしていただき、日赤や児童施設に寄付をしています。

また、1月にはカトリック中央協議会の「世界こども助け合いの日」に合わせて、「おむすび献金」をして頂いています。昼食時の「食前のお祈り」のことばを少しでも感じてもらえるように、この日だけは昼食の時間に、給食ではなくおかずを添えないおむすび（具材を中に入れるのは任意）を持って来て食べ、おかず代を献金していただきます。

よろしくお願い申し上げます。

☆ バザーの収益金をいただきました

保護者会主催のバザー（リサイクル品・手芸品等販売会）の収益金48,900円を、子どもたちのために、と寄付して頂きました。ありがとうございました。

☆ 防災訓練 11月5日

毎年11月の防災訓練は、高崎東消防署の方にご覧いただくなかで訓練をしています。4月から数えて3回目なので、子どもたちには訓練はあることは知らせてありますが、時間は知らせていません。実際の地震は予告なしですから、それに対応できるように計画しています。

☆ 祈りの日・終了式 12月23日

この日は、自由遊びのあと、終了式、アドベントの間思いやりのある行いをしたと思ったときにシールやお花を貼った木を互いに見せ合い、神様に2学期の間見守ってくださっていたことへの感謝をお伝えします。

これらを行うのに11時半降園は慌ただしいので、2023年度から2時降園になりました。

預かり保育の無い日

11月21日

12月18日

午 前 保 育

12月17・18日

12月の予定

12	金	クリスマス会総練習
15	月	クリスマス献金
16	火	クリスマス献金
17	水	クリスマス会準備
18	木	クリスマス会
19	金	誕生会
22	月	あそびの部屋終了
23	火	祈りの日・終了式（通常保育）
12月29日～1月3日 休園		